

所沢市立北秋津小学校

環境目標：身近な環境に関心を持ち、 主体的に環境に働きかける児童の育成 ～緑のカーテンと学校ファームの活動を通して～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

環境委員会を中心に実行したい環境に配慮した取組を話し合った。その中で今年度は、緑のカーテンと学校ファームの有効活用に力をいれることにし、実践した。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

緑のカーテンを設置することで室内気温の上昇を抑制し、夏場の空調の使用電気を削減できる。また、学校ファームや普段使われていない花壇を畑として利用することも、光合成によりゼロカーボンシティ実現に貢献できる。

＜主な教育効果：主体性の育み、環境配慮意識の向上、環境保全の意欲の増進、食育・地産地消への意識向上＞

1 《地球温暖化防止・エネルギー》



児童のふり返りでは「緑に親しむだけでなく、二酸化炭素の削減につながったらいいなという思いでがんばった」とあった。

3 《資源循環》



学校にある銀杏の木から銀杏を採取し地域の方と協力して乾燥させ販売することで地域との交流を深め無駄にしないことができる体験ができた。また、間引いた野菜を飼育しているウサギのエサにすることで無駄にしない体験もできた。

2 《みどり・生物多様性》

活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会の児童でアイデアで活動できた。 ・夏休みを自分たちで水やり当番を決め、自主的に活動できた。 ・最後の委員会で活動の振り返りを行い、引継事項などをまとめることができた。
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の小学校の環境改善から、所沢市の環境改善につながることを意識して活動できた。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間を通じて、意欲的に活動ができた。 ・育てた作物を職員に購入してもらい、来年度の資金を積み立てることなどもできた。 ・作物を育てることで、食育・地産地消について考えを広げることができた。